

■元気はもらえるか？■

ほぼ週刊【松村拓也のメルマガジン】第 444 号

こんにちは、松村拓也です。

E-Mail と Facebook で松村拓也の活動についてほぼ毎週お届けしています。

名刺交換した方や、突然思い出した方にもお届けしますので、ご迷惑であればお知らせください。

できれば勤務先でなく、個人のアドレスにお届けしたいので、ご連絡ください。

ご意見、ご質問大歓迎です。

.....

444 目次

1. ご挨拶とお誘い
2. まつむら塾より
3. ブログより：元気はもらえるか？
4. 今週の動向＋今後の予定
5. アクセスポイント：問い合わせ先
6. このメルマガについて

.....

1. ご挨拶とお誘い

先週のご報告。

連休が明け、10/10(火).11(水)と関東中央病院に通院し、諸々検査の結果、有り難いことに 10/16(月)に手術できることになり、10/13(金)より入院いたしました。

皆様からは、多数のご叱咤と激励のコメントを賜り、本当にありがとうございました。

このメルマガは、毎週火曜日の朝発信しているのですが、今回はどうしようかと思いましたが、速報は SNS などでもお届けできるので、日曜日にセットして、月曜日は全身麻酔の手術に挑み、火曜の朝自動発信いたします。

・

今週は、ひたすら療養とリハビリの日々になると思います。

空いた時間は SNS などをこまめにチェックしようと思いますので、引き続きお付き合いのほどよろしく願いいたします。

皆様のご無事とご多幸を、祈念いたします。

.....

2. まつむら塾より

半端なことしないで、退院してから再開せよ・・・との厳しくも温かい励ましを頂きましたので、お言葉に甘えて一旦休校（期間未定）とします。

.....

3. ブログより：元気はもらえるか？

日本語には、具体名詞と抽象名詞があるといわれるが、あなたをご存知か。

これは実体があるものを示す名詞と、概念的なものを示す名詞の区分のことで、日本人はこれを巧みに使い分けるという。

そもそも日本語の名詞には、ラテン系言語のような男性女性や単数複数の区別もなく、**the** のような冠詞も付かなければ語尾変化もなく、辞書にも単に「名詞」と表記されるだけ。

だか、実際には、漢字かなカナの使い分けに加え、固有名詞はさらに、一般・組織（会社など）・姓・名・外国人の名前などに細分している。

これほど複雑な体系を持つ名詞を一括りに扱う我ら日本人だからこそ、自身が使う言語の変化に鈍感なのは、無理からぬことかもしれない。

・

「勇気をあげる」とか、「元気をもらう」など、抽象的なものがあたかもそこにあるような表現は、明らかに近年多用されるようになっており、僕はこの変化を「抽象名詞の具体名詞化」と呼びたい。

言葉は時代とともに変化するが、特に形容詞や形容動詞の変化が著しく、名詞の変化は緩やかだと考えられてきたようだ。

この問題に関しては、多数の議論があるようだが、僕が気になったのは次の点だ。

様々な事件や体験に合わせて、抽象名詞が具体名詞として使用されることによって直感的理解や共感が高まるかもしれないが、言葉の持つ抽象概念の理解は進むどころか置き去りにされ、思考の停止が危惧される。

・

さて、僕がこの問題に気づいたのは名詞でなく、動詞の役割からだった。

以前にも書いた通り、「HELP」には「助ける」と「手伝う」の二つがあり、これを図示すると、登る人を上から引くのが「助ける」で、下から押すのが「手伝う」を意味する。

僕は言葉をこのように図示することが、「理解すること」だと説いた。

ところが最近セミナーを再開して、この話を進化させる中で、坂登りを崖から飛び降りる場面にすると、大変なことが起きた。

なんと、助けるは崖の上から引き上げるのままで、手伝うは崖から突き落としてしまう。

つまり、自殺の HELP は、どちらの意味なのかと。

・

僕がこの現象に注目したのは、その原因が思考停止と思われるから。

直感的な理解の積み重ねだけでは、大きな過ちを産みかねない。

ここで着目すべきは HELP が他動詞であり、相手がいないと意味を成さないこと。

助けるも手伝うも、相手のメリットや願いと強く関係することを忘れてはならない。

したがって、相手が坂を登りたいならそれを助けるのも手伝うのも同じ結果を目指している。

だが、相手が死にたいとか、悪事をしたいとなると、それを HELP すべきかどうか、相手との関係性が関与する。

戦争や災害時の人道的支援は、まさにこの葛藤を抱える HELP だ。

・

そこで僕はこうした動詞を具体的な行動でなく、抽象的な配慮や感情に基づく「抽象動詞」と名付けてみた。

そして、その用例を調べても見つからず、代わりに「抽象名詞」にたどり着いたというわけだ。

先ほど例示した「勇気をあげる」や「元気をもらう」の動詞部分に着目すると、「あける」と「もらう」はいず

れも他動詞だし、「助ける」や「手伝う」と同様に具体動作は示していない。

自殺しようとする人を「手伝う」などと抽象動詞を使用せず、「安全な場所まで連れ戻す」と言えば良いことだ。

「勇気をあげる」や「元気をもらう」という言葉は、一見実感に満ちたわかりやすい表現だが、自分なりに咀嚼して再現はおろか、説明すらできない意味不明な呪文であることを！今日は確信した。

<https://nanoni.co.jp/20231015-2/>

.....

4. 今週の動向+今後の予定（下記以外はまつむら塾受付中）

【凡例】◎：要連絡、○：要申込、×：一般参加不可

■今週の動向

(火) 10/17 入院中

会議×：13-15時 理知の杜理事会評議員会 (OL)

(水) 10/18 入院中

(木) 10/19 入院中

会議○：20-22時 AR・Q ミーティング_3木 (OL)

(金) 10/20 入院中

(土) 10/21 入院中

(日) 10/22 入院中

(月) 10/23 入院中

■今後の予定

10/24 会議○：20-21時 LR 定例会議_4火 (OL)

10/26 交流◎：10-12時 笑恵館 de シネマ_4木朝 (笑恵館)

10/26 会議◎：17-19時 笑恵館運営会議_4木 (笑恵館)

10/26 交流◎：19-21時 笑恵館 de シネマ_4木夜 (笑恵館)

11/04 交流◎：10-17時 よろず相談会_土 (笑恵館)

11/09 会議◎：17-19時 笑恵館運営会議_2木 (笑恵館)

11/14 会議○：20-21時 LR 定例会議_2火 (OL)

11/16 交流◎：13-18時 なるほどデイ_3木 (笑恵館)

11/16 交流◎：18-20時 持ち寄り食事会_3木 (笑恵館)

11/16 会議○：20-22時 AR・Q ミーティング_3木 (OL)

11/18 会議○：10-12時 八島花文化財団理事 MTG_3土 (OL)

11/18 交流○：18-20時 住人食事会_3土 (笑恵館)

11/26 交流○：10-14時 名栗の森 OSC 例会_4日 (飯能)

松村の予定はこちらで随時公開しています。

<http://nanoni.co.jp/schedule>

.....

5. アクセスポイント

松村拓也

メール takuya@nanoni.co.jp

携帯 090-9830-3669

自宅：

〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-27-19 笑恵館

<http://shokeikan.com/>

主な所属団体：

株式会社なのに（取締役・平社員）

<http://nanoni.co.jp/>

一般社団法人日本土地資源協会（代表理事）

<http://land-resource.org/>

特手非営利活動法人 HOME-FOR-ALL（事務局長）

<http://www.home-for-all.org/>

.....

6. このメルマガについて

松村拓也とご縁のあった方に、日々の活動やブログ記事などの情報をほぼ毎週お届けします。

参加希望、ご意見、ご質問など、何でもこのメールに返信してください。

バックナンバーはこちら

<http://nanoni.co.jp/magazine/>

メール配信をご希望の方はこちら

<http://eepurl.com/dHjgFX>

まぐまぐ版はこちら

<https://www.mag2.com/m/0001693746>